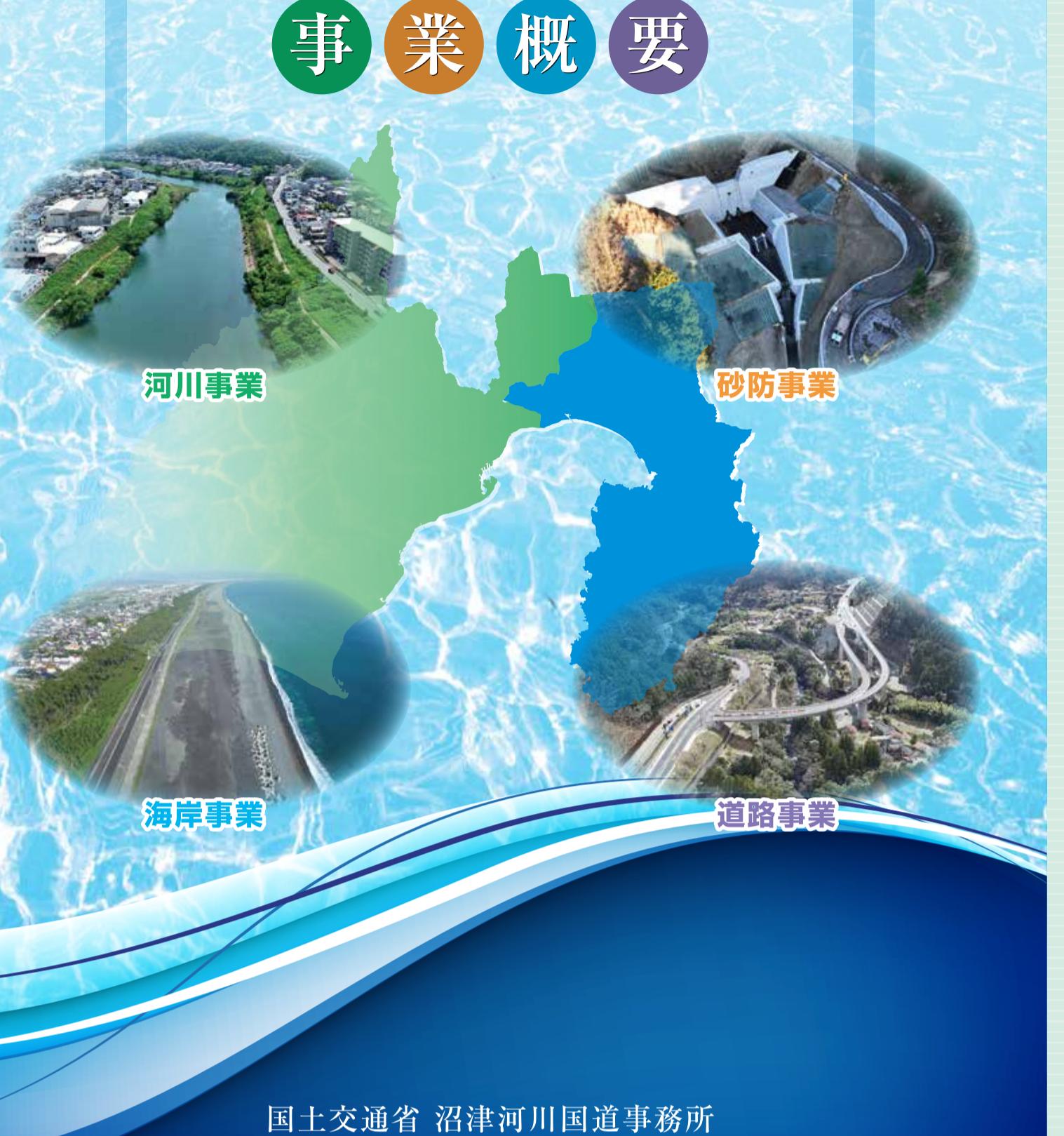


# 国土交通省 沼津河川国道事務所

Numazu Office of River and National Highway

## 事業概要



国土交通省 沼津河川国道事務所

国際交通省沼津河川国道事務所	
〒410-8567	沼津市下香貫外原3244-2
総務課	055)934-2001 事務所の総合窓口
経理課	934-2002 入札や契約の手続き
用地第一課	934-2003 河川・砂防事業の用地取得
用地第二課	934-2004 道路事業の用地取得
工務第一課	934-2005 河川・砂防・海岸工事の設計・積算
工務第二課	934-2007 道路工事の設計・積算
品質確保課	934-2008 工事発注手続きと審査及び品質管理
流域治水計画課	934-2009 河川・流域治水の調査と事業計画
河川監理課	934-2010 道路の調査と事業計画
道路管理課	934-2011 河川管理施設の維持管理
E-mail(代表)	cbr-numazu@mlit.go.jp
ホームページ	<a href="https://www.cbr.mlit.go.jp/numazu/">https://www.cbr.mlit.go.jp/numazu/</a>
沼津河川出張所	〒410-0871 沼津市本郷町33-1 055)931-4370
沼津国道維持出張所	〒411-0943 駿東長泉町下土狩1027-1 055)986-1122



## 狩野川概要



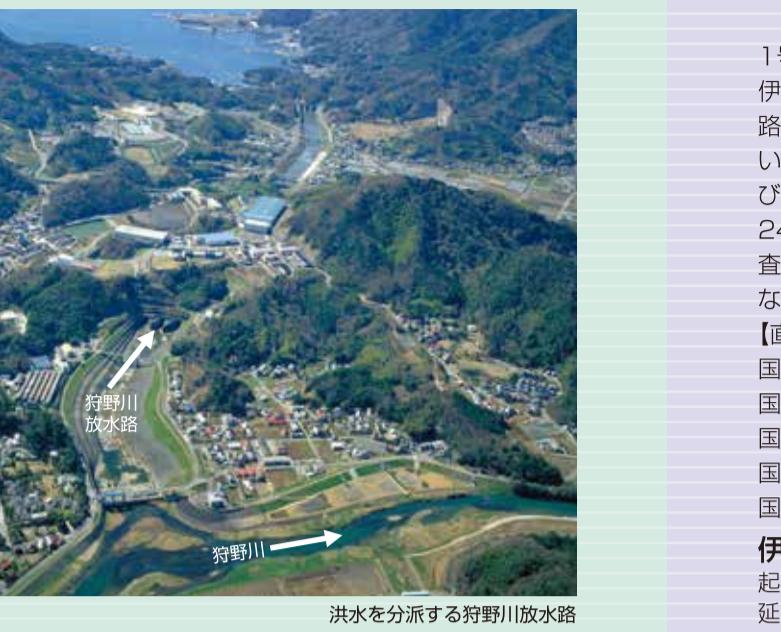
### 生命と財産を水害から守り 豊かな自然を生かすために ～河川事業～

河川事業は、洪水被害から住民の生命・財産を守ることを目的としています。

伊豆半島のほぼ中央部を南から北へ細長い「く」の字をなして流下する狩野川は、鮎の友釣り發祥の地であり、柿田川に代表される綠豊かな河川環境が残る河川です。狩野川流域は天城山に代表される山地帯を抱え、流路を平坦化した市街地がある田方平野を流れ、太古の昔より幾多の水害被害が発生しています。特に昭和33年の狩野川台風では未曾有の大被害となりました。その後、狩野川放水路の完成や堤防等の整備により洪水による被害は大きく減少しましたが、近年は、中流域を中心に内水被害が頻発しています。そうした状況の中、これからも引き続き水害をなくすとともに、豊かな自然を守り、暮らしやすい川づくりを行っていきます。

#### 【直轄管理区间】

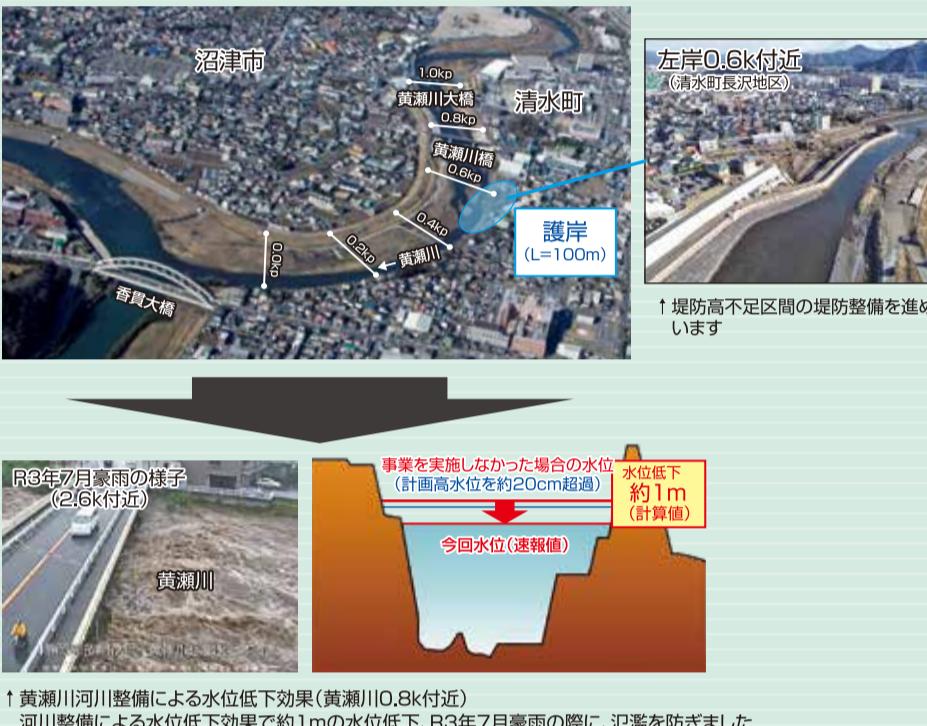
狩野川：24.9km 黄瀬川：2.7km 布田川：1.2km  
大場川：2.6km 来光川：1.5km 埴沢川：0.9km  
放水路：3.0km



#### 流域治水の取り組み

流域全体で水害を減らせる治水対策、「流域治水」を計画的に推進するため、「狩野川流域治水協議会」が令和2年8月に設立されました。流域9市町において目標・対策メニュー等をとりまとめ、国と市町が一体となって取り組みを進めています。

河川改修事業は、洪水被害から住民の生命・財産を守ることを目的として「狩野川水系河川整備基本方針」及び「狩野川水系河川整備計画」に基づき、堤防のかさ上げや築堤、河道削除等の河川整備を進めています。



#### トピックス

##### 流域市町と一緒に

流域治水の取り組みとして、内水対策などについて国、県、市町と勉強会を行っています。狩野川流域の将来について、分野の垣根を越えて活発な意見交換が行われています。



河川整備は、河道流下断面の確保、堤防等の施設の機能維持、河川区域等の適正な利用、河川環境の整備と保全等を目的として、河道削除、樹木伐倒、巡回・点検、草刈り、障害物の処分等を実施し、損傷、腐食、劣化その他の異状に対して補修等を行っています。

河川維持管理は、河道流下断面の確保、堤防等の施設の機能維持、河川区域等の適正な利用、河川環境の整備と保全等を目的として、河道削除、樹木伐倒、巡回・点検、草刈り、障害物の処分等を実施し、損傷、腐食、劣化その他の異状に対して補修等を行っています。



#### 水辺環境整備事業

##### (かわまちづくり)

南郷町本地区では水辺を安全に利用できる階段や散策路、水辺の親水護岸・河川敷広場の整備等を実施しました。地域住民の憩いの場やイベントで活用され、整備前と比較して利用者数が増加しています。また、伊豆の国市神島地区でも今後水辺整備事業を進めています。



#### 自然再生事業

##### (柿田川)

我が国最大の湧水量によって形成される河川で、貴重な生物の生息、生育場所となっている柿田川において、貴重な水生植物の生育環境やアユの産卵場として機能する健全な水域の保全、再生のため、外来種の駆除や土砂の撤去を行っています。



## 富士海岸概要



### 生命と財産を高潮災害から守り 美しい環境を生かしていくために ～海岸事業～

海岸事業は、高波浪や高潮災害から住民の生命・財産を守り、国土を保全することを目的としています。

当事業所では、昭和41年9月の台風26号を契機に、昭和42年から直轄管轄された沼津港の西側から柿田川口までの延長約19kmを担当し、海岸侵食に対するは離岸堤や消波堤の設置、高波浪や高潮災害に対する堤防の嵩上げ、さらには堤防の耐震・老朽化対策を実施してきました。



#### 侵食対策のため海水を供給する海水

富士海岸は万葉の歌にも歌われた「白砂青松」の地として人々に親しまれ、さらに富士山を背景にした豊かな自然環境を有し、多くの海浜利用が行われています。この素晴らしい環境を守りつつ、沿岸漂砂の連続性を確保する養浜等による侵食対策を継続し、安全で利用しやすい海岸の創出を目指しています。

富士海岸は、土石流などの土砂災害から住民の生命・財産等を守るとともに、狩野川下流域への多量の土砂流出に伴う洪水氾濫を防止・軽減することを目的として、狩野川下流域において土砂の生産・流出を調節するため砂防堰堤等を整備しています。



## 道路概要



### 人を中心とした豊かな地域づくりのために ～道路事業～

沼津河川国道事務所は、静岡県東部地域の国道1号、138号、246号及び高規格幹線道路である伊豆縦貫自動車道・東慶河津環状道路、天城北道路、河津下道路の4路線約11.0kmを管理しています。各路線の維持管理、交通安全、道路防災及び道路に関する許認可のほか、国道1号、138号、246号及び伊豆縦貫自動車道の改築事業、道路調査、建設機械整備等の業務を実施し、安全で快適な道路づくりに取り組んでいます。

#### 【直轄管理区間】

国道1号：32.9km 国道1号伊豆縦貫自動車道（連絡線含む）：16.8km  
国道138号：16.7km 国道246号：35.7km  
国道414号伊豆縦貫自動車道：8.9km

#### 伊豆縦貫自動車道概要

起終点：静岡県沼津市・下田市  
延長：約60km  
設計速度：80km  
整備効果：伊豆半島の南北を縦貫する道路であり、国道135号、136号及び414号の交通混雑の緩和。  
災害時：救急医療時の緊急輸送路としての機能。

#### 伊豆縦貫自動車道全線整備による時間短縮



#### 改築事業



#### 道路の老朽化対策



#### 無電柱化事業



#### 交通安全事業



#### 狩野川砂防概要



### 生命と財産を 土砂災害から守るために ～砂防事業～

砂防事業は、土石流などの土砂災害から住民の生命・財産等を守るとともに、狩野川下流域への多量の土砂流出を防ぐため砂防堰堤等を整備しています。

狩野川砂防事業は、昭和33年9月の狩野川台風による災害を契機に、昭和34年から実施しており、狩野川河口から約27.8kmの修善寺橋を起点とし上流域約27.0kmの狩野川流域（修善寺川流域を除く）において、砂防堰堤・深流保全工等の整備等を行っています。また、伊豆東部火山群のうち、柿田川の砂防事業に関する調査を行っています。



## 防災概要



### 自然災害の防止や迅速な復旧のために

#### 気象観測体制の構築 ～狩野川流域・富士海岸～

近年の集中豪雨や自然災害に備えるため、管内にリアルタイムな降雨状況を把握できるレーダー雨量や雨量観測所及び河川・水位観測所を設置し、CCTVカメラにより河川・海岸の状況把握を実施しています。また、洪水時にきめ細やかな水位状況を把握するため、平成31年より洪水時の水位観測に特化した危機管理型水位計を設置し、川の水位情報を公開しています。

#### 【川の防災情報】

- PC版... <https://www.river.go.jp/>
- スマートフォン版... <https://www.river.go.jp/s/>
- レーダー雨量... <https://www.river.go.jp/kawabou/pc/rd>
- 川の水位情報... <https://k.river.go.jp/>

#### スマートフォン用QRコード



#### TEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)

国際交通省は、大規模な自然災害に際して、被災した自治体に対して、リソース(現地情報連絡員)を派遣し、災害対応や救援活動に連携して、災害対策訓練や連絡会議等を実施します。

# 国土交通省 沼津河川国道事務所管内図

